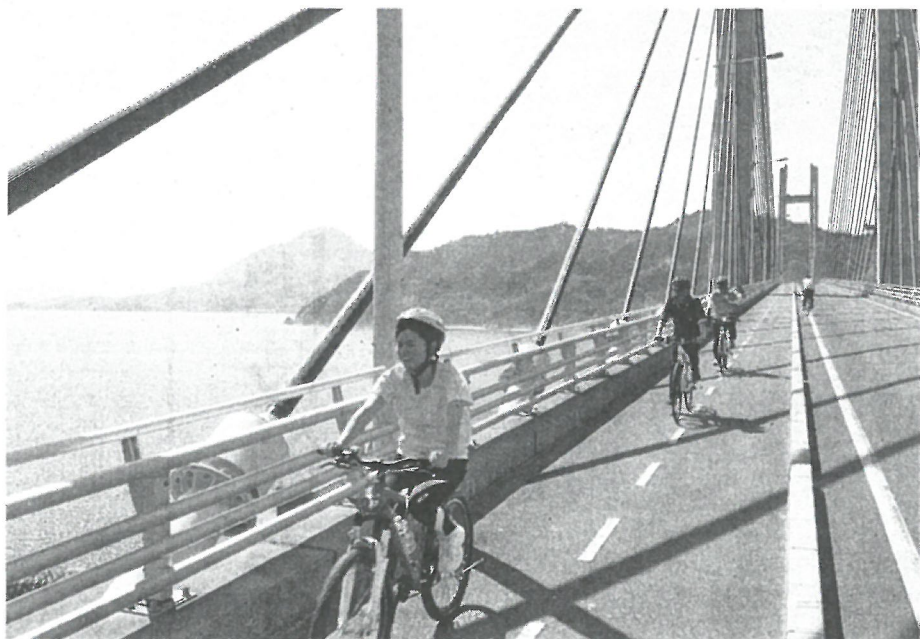


自転車で島巡り 育む絆



ゆめしま海道を走る学生たち―上島町

愛媛大学の学生と台湾からの留学生たちが、自転車で愛媛県上島町の「ゆめしま海道」と岩城島を巡り、マリンスポーツや郷土料理作りを組み合わせた交流目的のイベントを体験。サイクリングを通じた「ゆめしま海道」での日本と台湾の学生交流や、外国人観光客の誘客に手応えを得た。

同町の生名島、佐島、弓削島を結ぶ「ゆめしま海道」は再来年、岩城島まで延長される。すでにサイクリストの聖地として外国人観光客にも人気の高い、瀬戸内しまなみ海道とも連携する新たなサイクリングコースとして期待される。今回、イベントを実施し

たのは愛媛県と台湾の交流を促す目的で先月に発足した「愛媛台湾親善交流会」で、学生約40人が所属する「学生支部」のメンバーら。サイクリングに、地元住民の協力で新たなマリンスポーツとして注目される「サップ」や水上自転車、伝統的な町並みの探索などの体験を組み合わせた。

参加した留学生で4年の林文加さん(22)は「瀬戸内海もサイクリングも初めて。風景が美しく、島の人たちが優しい」と話し、岩城島出身で同大3年の澤田奈津季さん(20)は「留学生たちの様子を見て故郷の良さを改めて感じました」と笑顔を見せた。

愛媛 日台学生ら交流